

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表  
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満  
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた  
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 宮城県大崎市立沼部小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等教育学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )

住所 〒989-4308

宮城県大崎市田尻沼部字山崎一 7 番地

E-mail : osaki\_numabe@educ.osaki.miyagi.jp

Website : \_\_\_\_\_

児童生徒数：男子 160名 女子 121名 合計 281名  
 児童・生徒の年齢 6歳 ~ 12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

4. 活動内容



(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容につ

いては、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

①

総合的な学習の時間 田んぼから自然を見つめてみよう(米作り)		
月	活動内容	写真
5月	<p>線引き, 田植え</p> <p>協力者: 沼部長寿会</p> <p>餅米(ミヤコガネ)を作付けしました。</p> <p>田んぼの広さは, 7畝(210坪)</p> <p>田んぼの土の感触に感動しました。</p>	 <p>田植え</p>
5月~9月	<p>草取り</p> <p>協力者: 近所の方</p> <p>今年の夏は暑く, 草取りがたいへんでした。</p>	 <p>草取り</p>
10月	<p>稲刈り</p> <p>協力者: 沼部長寿会</p> <p>初めて鎌を扱う児童が, ほとんどでした。</p> <p>収穫量は, 7袋半(225Kg)</p>	 <p>稲刈り</p>
11月	<p>餅つき会</p> <p>協力者: 沼部長寿会, 保護者, 祖父母</p> <p>もちのつき方を実演してもらい, 児童全員に付き添いながら教えていただきました。</p> <p>ごま餅, ずんだ餅, あんこ餅, 納豆餅, 雑煮をみんなで楽しく会食しました。</p>	 <p>餅つき</p>

<p>11月</p>	<p>餅つき会  協力者：沼部長寿会，保護者，祖父母との交流  長寿会の皆様には配慮してテーブルで食べていただきました。</p> <p>保護者と児童と一緒に会食しました。</p> <p>餅つき会の進行は，児童が務めた。お年寄りに配慮した設定と言葉遣いに気を付けていた。</p>	 <p>保護者会食</p>  <p>長寿会会食</p>
------------	--	---


○ 成果

- ・ 稲作活動をとおして，田んぼに生息する虫や土(泥)の感触とにおい，水の温かさそしてつめたさが，天候や季節によって違うことを体験から気づくことができ，自然の豊かさにふれることができた。
- ・ 田植え，苗の世話，稲刈り，餅つき等一連の活動を長寿会の皆様と共に活動することによって，先人の器用さや工夫に気づき，あこがれをもつこと児童もみられた。

○ 課題

- ・ 田の土地の所有者，苗を作り寄贈していただく人，田の管理をしてくれる人，長寿会の皆様との日程等の調整がわずらわしく，担当の負担が大きい。事前に計画している日程を共有できるようにこころがけていく。
- ・ 長寿会のメンバーの減少等も予想されるとのこと。

②

<p>スカイプによるテレビでの交流</p>	
<p>7月</p>	<p>大貫小・タイの小学校との交流  協力者：ぬまっこクラブ 戸島先生  宮城教育大学</p> <p>事前に調べたことを，テレビを通して質問したり，応答したりした。  タイの学校の様子や気候，寺院などの文化遺産，生活の仕方の違いに気づくことができた。</p>
 <p>スカイプによるTVでの交流</p>	

## 〈交流までの経過〉

### 前年度

- ・昨年度ぬまっこクラブの戸島先生より タイのアユタヤについての授業を受ける。

### 今年度

- ・戸島先生や宮教大の島野先生よりスカイプ交流事業についての提案を受ける。

## ○ 調べる

- ・グループを4つに分けて、交流での発表の資料の整備をする。
- ・各グループの課題は、①地元沼部の紹介 ②学校の授業について ③学校の休み時間の過ごし方について ④冬の生活と遊び

◇ それぞれが、なにを分かってほしいのか。どうやったら、わかりやすくなるのか。なにを伝えるのかを突き詰めながら活動にあたっていた。

## ○ 経験する

- ・タイ米を炊いて試食。普段食べている米のご飯との違いを感得させる。
- ・トムヤンクンの素をもらったので、タイの代表的な食べ物であるトムヤンクンをみんなで作って、タイの味覚を感じさせた。

## ○ 成果

- ・交流にあたり、事前に自分たちの学校やふるさとのことについて調べたり、タイのことについて調べたりすることにより、ふるさとを見直す機会となった。
- ・タイのことを調べ、体験しようとタイの料理の調理実習を実施したことで、同じ米でも日本米とタイ米の形や味の違い、そして味付けの違いも体感した。
- ・交流からタイの文化や気候が日本と違うことに気づき、他の国のことについても調べようとする児童もいた。
- ・タイの子どもたちが、英語を話していることに驚き、話していることがわかるようになりたいと思う児童が数多くおり、英語への動機付けとなった。


## ○ 課題

- ・日本やタイのことについて調べたり、質問をまとめたりする時間や交流の時間を事前に計画をしていなかったため、調整が必要だった。  
(当日を除いて6単位時間を事前の取組に要した)

③

蕪栗沼のヨシ刈りとヨシ簾作り

<p>1月</p>	<p>協力者:ぬまっこクラブ 戸島先生他</p> <p>蕪栗沼のヨシ原で、ヨシ刈り体験をしました。冬の蕪栗沼には、学校の学習では、初めておとずれました。</p> <p>暖かい時の沼の様子との違いも、理解することができたようです。</p>	 <p>ヨシ刈り</p>
<p>よし原の風景</p>	<p></p>	 <p>ヨシ刈り</p>
<p></p>	<p>ヨシ簾を編むために、長さを揃えます。電動糸鋸やカッター等で協力しながらヨシを切ります。</p>	 <p>ヨシ簾づくり</p>
<p></p>	<p>ぬまっこクラブの先生に教えられたとおりに、協力しながらヨシを編んでいきます。</p>	 <p>ヨシ簾づくり</p>

	<p>はい, できあがり。</p>	 <p>ヨシ簾づくり</p>
--	-------------------	--

○ 成果

- ・ 学校の学習で, 蕪栗の四季を観察することができた。
- ・ ヨシの茎の高さ, 堅さ, 強さを体感することができた。
- ・ ヨシ簾作りをすることにより, 自然の豊かさ, ありがたさに気づくことができた。
- ・ 豊かな蕪栗沼を大事にしようという想いと誇りに思う気持ちをもてたことが作文から読み取れた。

○ 課題

- ・ 特になし。

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ( )